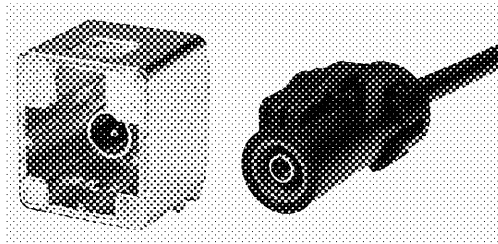


車載用コネクタ開発

ケル・イリソ電子、試作品提案

ケルとイリソ電子工業は車載用小型同軸コネクタを共同開発し、試作品（写真）を



製作した。車載向けに強いイリソ電子、高速伝送が得意なケルが共同開発することで、自動運転や先進運転支援システム（ADAS）市場の高度化、ソフトウェア定義車両（SDV）開発に要求される高速伝送や広帯域に対応した車載用コネクタの製品開発を迅速化するのを狙い。

試作品は9ギガ（ギガは10億）の高周波帯までをカバーし、自動運転やADASの高度化に応える。併せて小型・小径化により電子制御ユニット（ECU）への高密度実装、車載機器内の小穴（直径12ミリの）に取り付けが可能。今後、両社が協力して車部品各社に提案し、2025年度中に試作評価と量産準備を行う。

基板側の大きさは縦12・4ミリの横10・7ミリの奥行き14・8ミリのケーブル側が縦11・45ミリの横9・1ミリの奥行き20・65ミリのスルーホール（基板の接続用貫通穴）実装だが、リフローハンダ付けにも対応した。